「えびな安心キット」配布対象拡大を

公明党　福地　茂

問：22年3月議会で、私が提案した救急医療情報キット「えびな安心キット」を、22年7月からひとり暮らし高齢者宅に、約1400個配付したと聞いています。「ありがたい」という高齢者の反響も聞きました。

そこで、ひとり暮らし高齢者の方だけではなく、配付対象を拡大できないか伺います。

答（市長）：民生委員の協力により、11月末までに1394個の「えびな安心キット」を配付しました。

この「えびな安心キット」は、ひとり暮らし高齢者の健康に何かあった際、駆けつけた救急隊員が、いち早く医療情報を取得するのに有効だといわれています。

議員提案の配付対象の拡大は、前向きに検討していきたいと考えています。

高齢者問題に対処するために

無会派　奥村　正憲

問：市内には高齢化率が40％にせまる地域があります。高齢者の実態調査を行い高齢化社会に対応するシステムを構築すべきと考えますがいかがでしょうか。

答（市長）：えびな高齢者プラン21の改定時期となるため、地域課題や市民ニーズ把握に努めていきます。

問：地域包括支援センターに多くの福祉専門職員を配置することで、高齢者の見守りが可能になると考えますがいかがでしょうか。

答（保健福祉部次長）：現在の職員体制で対応が可能と判断しており、人員増は考えていません。

問：高齢者に関わる団体による協議会をつくる考えがあるか伺います。

答（保健福祉部次長）：地区社協の設置を推進しており高齢者団体による協議会をつくる考えはありません。

給食センター建設のコンセプトは

新政海クラブ　藤澤　菊枝

問：給食センターの建設に当たっては、多様化する市民ニーズに対応するため、新たな機能を追加するなど施設の付加価値を増していく必要があると考えます。そこで、あらためて施設建設のコンセプト、建設に係る予算に対する考え方などを伺います。

答（市長）：施設建設のコンセプトは、学校給食施設という固定概念にとらわれることなく「市民の施設」として「食」をキーワードとした施設活用の検討を進めてきました。具体的には、幼稚園給食や高齢者への配食サービスも視野に入れています。予算については、短期的に必要額を計上するのではなく、中長期的に見た予算編成を考える必要があります。

答（教育長）：建設する施設の名称を、（仮称）「海老名市食の創造館」とし、建設コンセプトの明確化を進めていきます。加えて、市民開放型の多機能施設として建設を進めていく考えです。

▲建設が進む（仮称）食の創造館

高齢社会に備え地域密着型サービスの充実を

民主・みんな・無所属クラブ　坂本　俊六

問：高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送るためには地域密着型サービスの提供が大切です。特に小規模多機能型居宅介護（通い・泊まり・訪問）、認知症対応型通所介護（デイサービス）、夜間対応型訪問介護などのサービスは認知症やひとり暮らしの高齢者が増加する現在、ますます重要になりますが、本市にはありません。今後の見通しを伺います。

答（保健福祉部次長）：地域密着型サービスは高齢者が要介護状態になっても、住み慣れた地域で生活するために重要な役割を担うサービスです。地域密着型サービスは、今後、アンケート調査などにより利用者の意向を分析し、第5期えびな高齢者プラン21を策定する中で検討していきたいと考えています。

慢性的な渋滞の解消を

日本共産党　志村　憲一

問：大塚五差路は、連日慢性的な渋滞があり、この五差路を通過するには信号を何度も待たないと通過できないほどです。その解決のために右折、左折レーンの確保や、時差式信号機の設置などの改良を図るべきだと考えますが、市長の見解を伺います。

答（市長）：この交差点は、行政界が隣接していることや交差点北側に踏切があるなど複雑な要因を抱えています。将来的な道路計画として、県道側に都市計画道路「藤沢相模原線」が位置付けられています。そのため、この交差点については、広域的な幹線道路としての位置付けから、県が事業主体で整備すべきと考えています。しかし、柏ケ谷と東柏ケ谷を結ぶ唯一の市道であることから、渋滞解消に向け研究していきます。

行政評価の評価は

海政会　森田　完一

問：行政評価は市民目線で行政事業を分かりやすくする手段として事務事業を評価するものですが、市でも15年度から前年度の事務事業の一部を対象に評価を行い、公表しています。これら行政評価は非常に丁寧で、携わる職員の労力は大変なものです。また、17年度からはITを活用したシステムや外部評価を導入するなどの充実を図り、事務量の簡略化を行っていますが、これまでの評価と今後の展開を伺います。

答（市長）：17年度に外部評価委員会を設置し、市民目線で市の事業を評価・改善を図るなど行政評価を活用したこれまでの取り組みに対し、一定の評価をいただいています。今後も改善すべき点は改善し、より効果的な行政評価の推進に努めたいと考えています。

行政評価　市の経営に反映されているか

新政海クラブ　鶴指　眞澄

問：行政評価は行政経営の改善・効率化にとって重要な役割を担っています。地方分権の進捗や長引く不況で税収の減少、市民ニーズの多様化など環境の変化に対し、行政評価が適正に役割を発揮し経営に反映させる必要があります。市は行政評価の検討を始めてから10年経ちますが、評価結果の経年変化などを分析し、どのように行政経営に反映したのか伺います。

答（市長）：市は、15年度から行政活動目的の明確化と行政運営改善のために行政評価を実施しています。17年度からは市民目線での評価が必要と考え、外部評価を導入しました。これまでの評価結果は、事務事業の統合や実施計画事業の改善などに反映させていますが、今後も評価方法の工夫など向上を図ります。

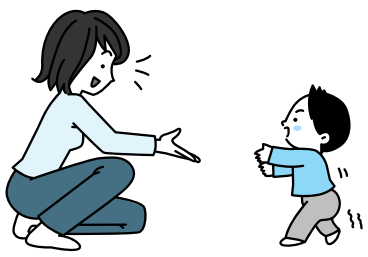
乳幼児の一時預かり　市の対応は

民主・みんな・無所属クラブ　相原　繁

問：就職活動時の乳幼児の扱いについて、現在は、両親が就職していないと、乳幼児は、保育園に預けられません。

そこで、母子家庭の世帯において、母親が就職活動を行っている際、特に、試験や面接に行く時など、乳幼児の一時預かりの扱いができるか伺います。

答（保健福祉部長）：保護者の就職活動時の乳幼児の扱いについて保護者の一時的な就労・病気・出産などの理由で利用できる一時預かり事業があります。この事業は、現在、民間の認可保育園5園および認定保育施設3園で行っています。利用に際しては、事前に各保育園に直接予約していただき、利用時に半日もしくは一日当たりの利用料をお支払いいただく方法で対応しています。



議会日誌

■平成22年11月

5・議会運営委員会
10・議員全員協議会
12・議会運営委員会
・第1回臨時会
24・議会運営委員会

■12月

1・議会運営委員会
・第4回定例会第1日
7・総務常任委員会
8・文教社会常任委員会
9・議会運営委員会
・経済建設常任委員会
13・第4回定例会第2日
14・第4回定例会第3日
17・高速道・相模川対策特別委員会
20・議会運営委員会
・第4回定例会第4日
・議員全員協議会
・広報委員会

■平成23年1月

6・議会運営委員会
11・第1回臨時会
・議員全員協議会